



引き続き、事業者支援へ 全力を挙げます

2023年度決算で88億円もの黒字となった京都市。
市民のみなさんへの力になれるよう、引き続き頑張ります。

決算特別
委員会

京都市は中小・小規模事業者の支援を行うべき



平井 良人 委員
(共産党 中京区)

決算特別委員会では産業観光局の決算概要にある「全体は持ち直しの傾向」との平均した結果を評価する態度を改めるべきと局の姿勢を質し、中小・小規模事業者への直接的支援策が必要と求めました。

産業観光局は「確かに経営状態が悪く、返済が困難な事業者が一定数ある」と認めたものの「今ある施策を着実に進める」とし、厳しい状況にある中小・小規模事業者への支援には否定的な姿勢を崩しませんでした。

引き続き、新たな直接的支援策を実現するために頑張ります。

市長
総括質疑

公共交通の値上げストップ 市営住宅の充実を

市長総括質疑では、市営住宅の家賃減免制度を元に戻すこと、市営住宅への指定管理者制度の導入はやめることなどを求めました。また、公共交通の運賃値上げ回避についても言及しました。

市営住宅の家賃減免制度を、元に戻すことについて副市長は「(これまでの制度は)生活に困窮する若年世帯には適用されないという不公平が生じていたので是正した」と述べましたが、市営住宅に住んでいる世帯の多くは高齢世帯であり、年間の負担増は14万円に及ぶこととなります。引き続き、家賃減免制度を元に戻すこと、市営住宅の充実を求めたいと思います。

市営住宅における指定管理者制度は、昨年度向島・際目市営住宅で導入され、来年度から大幅に対象が広がります。先行で導入された向島・際目市営住宅を管理する「東急コミュニティー」は、全国で公営住宅の管理をしているとともに、マンション管理も展開しています。都市計画局は「実績のある企業」としていますが、関東地方整備局から指導を繰り返し受けている企業です。

京阪京都交通の相次ぐ運賃値上げに対して、事前の協議や支援もなく、値上げに付き従っている状況が続いています。

寄せられた願いを前進させるために頑張ります。力を合わせましょう。

解体工事に際し、
都市再生機構に
申し入れ

壬生坊城アパート(壬生第一公団)を12月で解体させるとの情報を受けて、都市再生機構に幅広い周辺への説明会を求めるとともに、跡地の活用は住民の要望でと申し入れを行いました。「説明会は追って連絡する。申し入れについては、真摯に受けとめる」と回答されました。

